日本年金機構でどうなる？
私たちの年金 5・16【年金法廷】

老後の暮らしを支える年金。しかし、月５万円にも満たない国民年金。高すぎる保険料で未納者も無年金者も増大。「宙に浮いた５千万件」の年金記録解決は未だ半分程度。このような中、社会保険庁は廃止され、来年１月には日本年金機構が発足し、年金業務を承継します。職員を大幅に削減し、民間委託を拡大する年金機構で私たちの年金は大丈夫なのでしょうか。「年金法廷」で検証します。ぜひ、ご参加ください。

とき

5月16日【土】 13時半～17時

ところ

社会文化会館

東京都千代田区永田町 1-8-1　TEL 3592-7531

●地下鉄　有楽町線
【永田町駅】下車
２番出口から徒歩３分

●地下鉄　半蔵門線・南北線
【永田町駅】下車
３番出口から徒歩４分

●地下鉄　丸の内線・千代田線
【国会議事堂前駅】下車
１番・２番出口から徒歩６分

※駐車場設備はございません。
お車による御来館は御遠慮ください。

【年金法廷の内容】

- **社会保険庁・事務所の実態は今**
  定員割れで滞る年金業務。
- **公共サービス、年金の民営化の問題を暴く**
  国民財産の投げ売り、サービス低下の実態。
- **これでいいのか、日本年金機構**
  民間委託の拡大、積立金の市場運用、労働者の権利は。
- **フロア発言**
  社保庁改革から年金機構へ、どうなる私たちの年金

主催：国の責任で、安心して暮らせる年金制度をつくる連絡会・全国労働組合総連合

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-7-14 リバティ 14 ビル 3F 国公労連内　TEL3502-6363E　メール：mail@anshinnenkin.com